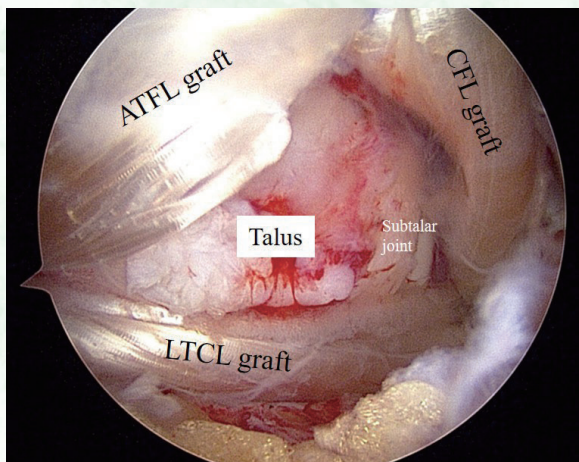


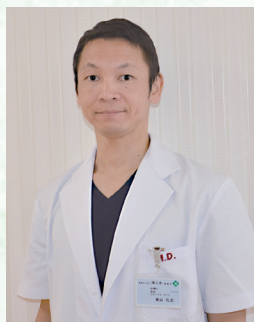
足関節外側靭帯再建で 世界初の内視鏡手術を 複数考案 安全な腓骨骨孔の作成法



世界初の鏡視下ATFL CFL LTCL 再建術
Higashiyama, et al. ALC-Triangle. Arthroscopy Techniques, 2020より引用

**足関節の様々な靭帯を
内視鏡で再建可能に**

『茅ヶ崎中央病院』整形外科の東山礼治医師は、捻挫などで損傷する足首の靭帯を、外側も内側もすべて内視鏡で再建できる医学博士。世界初のア



東山礼治 医師
筑波大学卒。千葉大学大学院博士課程修了。医学博士。日本整形外科学会専門医、スポーツ医。

アイデアも複数英語論文で報告してきた。捻挫の後遺症に悩まされているスポーツ選手や患者さんがこの手術で治る可能性がある。 「内視鏡（関節鏡）による足関節靭帯再建術では、腓骨（外果）、脛骨（内果）などに骨孔を作成して、再建靭帯を通して固定します。安全に骨孔を作成するために、術中にレント

ゲン透視で確認しながら、細いガイドワイヤーを先に挿入して、安全な位置と角度であることを確認してから径5〜6mm程度のドリルを慎重に挿入して骨孔を作成します。海外の医師が私の術式の安全性を証明して下さいました」

再建術は、骨孔に再建靭帯をアンカースーチャーや数年で骨に置換されるネジで固定する。術後二〜三カ月もすると骨孔の中で再建靭帯が固着するので、この時期を過ぎれば術後の足首の靭帯強度は再建靭帯そのものの強度になることが期待されるため、切れた靭帯を寄せて縫うだけの縫合術（修復術）よりも強く、さらに正常な靭帯よりも強くなる可能性があるという。

（ライター／斎藤 紘）



整形外科
☎ 9:00～14:00
☎ 日曜日・祝日



整形外科に
アクセスは
こちらから

医療法人社団 康心会 茅ヶ崎中央病院
ちがさきちゅうおうびょういん
☎ 0467-86-6530 ☎ chuuou@fureai-g.or.jp
📍 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎2-2-3
<https://www.fureai-g.or.jp/chu/>